



ほけんだより

23年度6月号
明照保育園



【子どもの健康状態】

気温の変化が大きかった5月は、乳児・幼児共に発熱で欠席した子が多くいました。続いて下痢や腹痛でお休みする子も多く、6月に入り嘔吐での欠席連絡も出始めています。感染症の報告としては、インフルエンザ（幼児3人）、水痘（乳児3人）がありました。他に突発性発疹（2人）、りんご病（幼児1人）、結膜炎（乳児2人）、じんましん（幼児2人）でした。

【内科健診がありました】

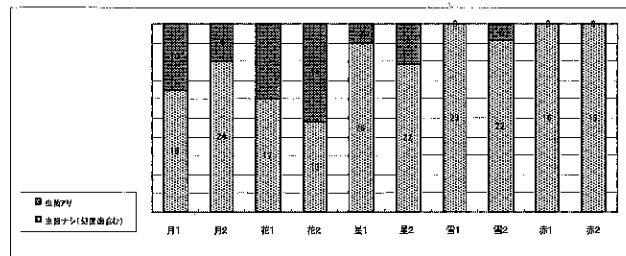
囑託医の市川先生により、5/11（水）に月組・星組、5/25（水）に花組・雪組・赤組の内科健診がありました。気管支が弱い子が増えているということでした。今後夏に向かい、夏かぜの注意として…熱は高め、高いわりに元気はあることが多い。熱性けいれんや髄膜炎を併発することがあるので、元気があっても様子を見守ることが必要です。とのアドバイスをいただきました。

【歯科健診結果】



5月19日と26日に囑託歯科医の山本先生による歯科健診があり、248人が受診しました。結果はおたより帳に記入してあります。虫歯のひどい方はお知らせしていますので、すぐに治療を始めてください。★乳歯の虫歯は永久歯にも悪影響をもたらします。

虫歯のある子が
248人中52人でした★
右記のグラフは、虫歯のある子とない子の数をクラス別に示し、相対的に表したものです。



★かみ合わせに問題がある子がいました★

かみ合わせに問題があると、将来小児の肩こりや腰痛などを起こし、生活にも影響することがあります。治療には適切な時期がありますので、歯科のホームドクターをもち定期的な健診をおすすめします。しかし、子どもの歯は、生えたり抜けたり永久歯が生えたりと、歯の数やあごの発達により、かみ合わせも変化していきますので、乳歯のうちは様子を見ていけばよいでしょう。



- ① 開咬（かいこう）：前歯の上下がかみ合わない。指しゃぶりやおしゃぶりを続けることが原因になることがほとんど。
- ② 反対咬合：下の前歯が出ている。受け口。切端咬合のひどいもの。

★その他★

- ① ゆ合歯：先天的に2本の歯が1本になって生えている。特に問題はないが、普通の歯よりギザギザしているため、虫歯になりやすい為注意が必要である。
- ② 先天欠如：生えてくるはずの歯が、先天的に欠如している。
- ③ サホライド：進行止め。歯医者で進行止めに塗ってもらっている。
- ④ 軟組織異常：上唇と歯ぐきの間のつなぎ目が短く、切った方がいい場合もある。
- ⑤ 過剰歯：一本の歯が二本重なっているような形をしている。
- ⑥ 要注意乳歯：乳歯がグラグラ。永久歯が生えてきているので抜いた方がよい。
- ⑦ 上唇小帯：上唇の中央から歯茎に伸びる筋が歯の近くに付着している。

☆☆★ 山本先生よりアドバイスを頂きました ☆☆☆

- ★ 2才までに親から食べ物の口うつしをしない！！（虫歯菌を子どもの口に入れない）
- ★ 2才までは極力甘い物を与えない！！（味を覚えさせなければ欲しがらないので）チョコやアメなど長い間口の中に残る物はよくない。
- ★ 毎日の仕上げみがきをしっかりと！！（幼児期の虫歯は大人の責任です）



【プールにむけて】

蒸し暑い日が続き、プール開きが待ち遠しいですね。6月29日（水）を予定しています。

泳ぐ前日には

- 耳垢をきれいに掃除する
- 手足の爪を切る
- 睡眠をよくとる

こんな症状が見られる時はプールに入れません

- 顔色が悪い
- 熱がある
- 目が充血している
- とびひ
- だるそうにしている
- 腹痛又は下痢をしている
- 病気になる（心臓病、伝染病、目・耳・鼻の病気など）

プールでうつる病気

- プール熱
- はやり目
- 水いぼ



【おわりに】

蒸し暑くなってくるとプール開きが待ち遠しいですが、免疫力が低下している時には“プールでうつる病気”にかかりやすくなります。楽しいプールあそびができるよう、健康管理に注意し、朝ごはんをしっかり食べて元気に登園しましょう！！